

TOPICS

- 使い続けて30年
- お客様紹介：第一明治工業株式会社
- しまねの燃料油について II
- 今月のプレゼント：年越しそば

「再生重油を使い続けて30年」 さらなる品質改善へ



再生重油のユーザーとして講演する、玉造グランドホテル長生閣の小川部長（写真左）と聴講する参加者の方々。

全国オイルリサイクル協同組合の全国経営研修会において、玉造グランドホテル長生閣 小川部長の講演があった。再生重油ユーザーの立場から、「使い続けて30年」として、再生重油を使い続けて30年以上の体験談と提言をいただいた。

「経費節減を命じられ、再生重油にたどり着くも、最初は燃えなくて寝ずの番をしていたと、先輩から聞いたことがある。自分の代になってからも、トラブルは時々あったが、その都度、設備の改良や改善をして、再生重油を使ってきた。コストメリットもあり、環境に優しいリサイクル燃料である。

現在も安定稼働のための改善を試行錯誤している。配管変更やクッションタンクの設置、バーナーを更新し燃費が3~5%も向上した実績もある。」

（玉造グランドホテル長生閣 小川部長の講演を抜粋）

地域で集めた原料で作られた地域のエネルギーを、地域の皆様に使っていただけるよう、さらなる改善に努めなければなりません。

「再生重油に代えてよかった」と言ってもらえるように、再生重油の高品質化をはかり、価値を高め、新しい需要家様を開拓していきます。

お客様紹介

第一明治工業株式会社 様

〒699-0101

島根県浜田市下府町216-4

TEL 0855-28-1750

FAX 0855-28-1752

<http://d1meiji.com>

会社全景



昭和38年創業、昭和55年、第一明治工業株式会社に社名変更し、現在に至っています。地域密着でお客様第一に、お客様の安全・安心なカーライフのお手伝いをしています。

当社の強みは、一般車両の点検・整備だけでなく、特殊大型車輛、フォークリフト・車両系建設機械修理・点検ができることです。お客様のご要望にこたえるべく、迅速・丁寧・安全・安心な体制で、お客様のサポートをしていきます。

今年10月17日、18日の大感謝祭では、約160名のお客様がオイル交換等の作業申し込みをされ、大盛況でした。地域のお客様とのつながりを強め、なくてはならない存在になっています。JAF指定登録店として、365日、緊急対応しています。「知らない土地で、助けてもらってありがとう」と丁重な礼状をいただいたこともあります。

お車のことなら何でもご相談ください。

(佐々木工場長)



佐々木工場長



事務スタッフの和田様、長谷川様、藤田様（写真左より）。明るい接客で、事務所が和みます。最近HPも開設され、お客様の注目を浴びています。

毎日、車検整備後の検査を行っています。（写真右より自動車検査員の岩田様と村田様。）



多種多様な車両が入庫するので、やりがいがある。お客様に喜んでいただける仕事をしていく。

(岩崎様)



10月17日、18日に開催された大感謝祭、社員総出でお客様をお迎えする準備が整いました。

浜田市情報

しまねお魚センターでは浜田漁港で水揚げされた新鮮な魚（どんちっちアジやのどぐろ）や水産加工品が揃っています。併設のレストランでは、海の幸たっぷりの美味しい料理を堪能できます。

また、しまね海洋館アクアスは、浜田市と江津市にまたがる島根県立石見海浜公園にある水族館です。シロイルカたちが「幸せのバブルリング」で皆さまをお迎えます。

しまねの燃料油について ()

昭和36年(1961年)から経済産業資源エネルギー庁が始めた探査船による浜田沖調査で、約60平方キロメートルにわたる有望な地層が在ると判断し、浜田市の北西約130kmの日本海で、石油、天然ガスの埋蔵量調査をするとのことである。

また、「メタンハイドレート」は日本近海の広い範囲で、海底下数メートルの浅い場所に存在する可能性があると言われていたが、隠岐島近辺にもメタンハイドレートが存在している可能性が高いことが確認されている。

このような話を聞くと、島根県沖は莫大な海底資源の宝庫のようでうれしくなる。

メタンハイドレートの生成は次のように説明される。大陸周辺の海底堆積物が運搬過程で小粒になって再堆積した海底面が、生物活動により土壌になる。その土壌の上に新たな堆積物が積み重なり海水の比率が減少すると堆積物の続成作用が進む。そこでは硫酸還元菌の活動が活発になり、地層は硫酸還元帯となる。メタン生

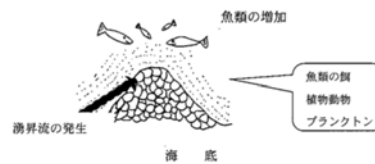
成菌の活動も活発になり、メタンと炭酸水素イオンが生成されて、そこで一定の条件下になると、水分子のかご構造にメタンが入り込みメタンハイドレートとなるとされている。

ところが、水産庁は隠岐の島周辺で漁場づくりのため図に示すような人工海底山脈の構築を計画中である。陸上の山を崩して得られる岩石を海底の一か所に沈積させて人工山脈を造り、海底のプランクトン類を湧昇流により海底山脈の上部に集める。そこを漁場とする計画があり、一部の工事はすでに進行しているらしい。

この事業は、食料確保のためには必要な事であると思うが、人工海底山脈が大切な海底資源に害を及ぼさないよう十分に検討して進めて欲しいものである。

島根沖海底資源とバイオ再生重油は、次世代に向けて頑張ってもらいたいと思っている。(完)

(しまね産業振興財団 酒井様)



オーバブリッジ 完成



本社Sオイル製品貯蔵タンクの防油堤にかかるオーバブリッジが完成しました。腐食が進んでおり、新規に鎌田社員、藤原社員、河上部長が製作にかかりました。工夫したところは、トラップの踏み板にエキスパンドメタルを使用したところです。雨水がたまず、すべりにくく安心です。ただ、塗装に時間がかかり、たいへんでした。

これから、天候不順な冬季に向かいますが、

これでしばらくの間は、腐食することなく、安全に安心してブリッジを昇降できます。

塗りたてのブリッジがひかり輝いています。



「ビルマの竖琴」を読んで 竹山道雄著



本書を読んで、使命(ミッション)ということを考えさせられました。信念や思考というものは、本来、水島上等兵のころの中に生まれたようなものをさすのではないかと思います。幸せ、生き方、人生……。現代人も、それぞれが日々、考えていると思いますが、現代人の思考や行動原理には、どこかに、人からどう見られるか、社会ではどのような評価を受けるのかなどの計算が働き、水島上等兵のように、信念や思考だけに基づいて、さらに、先のことなどを考えずに、その瞬間、瞬間を生きることができるひとがどれくらいいるのだろうと思いました。

人からどう評価されるのかではなく、自分が何をすべきかを突き詰めて生きる人間の偉大さのようなものを感じました。

(宮北)

あたり前にやるべきことがあたり前にできる会社は強い

周りからお客さまから素晴らしいと言われる人と会社になる

常務取締役 安原幸治

10月21日と22日の2日間、全国オイルリサイクル協同組合主催の全国経営研修会が行われました。2日目に創造経営コンサルタントの吉見先生の講義があり、「危機管理能力は経営管理能力に比例する」という演題でした。

会社の様々なリスクを想定し、問題が起きないように日々予防することが、望まれるリスク管理であると教わりました。

ちょっとしたミスやクレーム、時間的なロス(ムダ)が日常的に発生しているような組織では、商品やサービスの品質は上がりずリスクにも気づくことができない状態になっている。社員同士、部下と上司、会社と社員が日頃からコミュニケーションを取り、信頼関係ができていなければ、

リスクを予防することなどできないと学びました。

そして、リスク管理の基本となることが、「あたり前にやるべきことをあたり前にやること」です。

当社も、それぞれがそれぞれの立場で考えることが必要です。会社として、役職者として、リーダーとして、社員として、あたり前にやるべきことをあたり前にやっているか。

いつ起こるか解らないリスクにためらうことなく適切に対応できるのは、この基本がしっかりと守られている会社です。

自分も会社も、今より少しでも良くすることを考え実行していきます。

私はこう考え、こう実行します

【松下】会社のルールを守り、あたり前のことをやり続ける。

【河上】車輛のトラブルでのロスをメンテナンスで減らす。

【榎並】誰でもあたり前に行動ができるように仕事のやり方の手順を見直し、整備していきます。

【山口】私はリスクを予防するために一日一日の仕事をきちんとします。

【木村】Sオイルの販売の流れを会社として作り上げる。

【大國】発想を豊かにもってプラス思考で行動する。

【福島】構内の整理整頓に努める。

【木村憲】やるべきことをあたり前にやる。

【松本】創意工夫でロスをなくす。

【岸本】お客様からの催促電話がないように、計画的に訪問、収集する。

【高橋】私は、間接的な業務にもコミュニケーションをとって相互確認します。

【植尾】報・連・相の徹底。

【吾郷】メンテ部の業務を早く覚えます。

【長谷川】基本を忠実に収集作業・運転をし、リスクを減らします。

【恩村】コミュニケーションを取り、報連相を徹底します。

【小村】少しでも無駄がないよう、行動スケジュールを見直す。

【清水】私は、やるべきことをあたり前に出来るように経験し成長していきます。

【藤原拓】お客様に喜んでいただける廃油タンクを製作します。

【金森】本当の無駄に気付き、自分の仕事にベストをつくす。

【藤原大】現場で作業中、しっかりと声をかけあい、安全に作業します。

【安達】会話を多くするよう、心がける。

【野々村】大きな声であいさつをする。

【松浦】基礎という土台をしっかりと固め、日々改善を心掛けます。

【宮北】業務の基本を再度見直す。

【石川】状況にあったベストな判断ができる様に考え、行動する。

【石橋】上司と部下、会社と社員に信頼関係を築く。

【中村】基本を守り、「あたり前にやるべきことをあたり前にやる」を心掛けます。

【足立】自分に与えられた仕事を報・連・相をしっかりと行い遂行します。

【藤田】あたり前だと気を抜かず、目の前の事を適切に処理します。

【加藤】全ては、挨拶から始まる。誰にでもはっきりと行い風通しのよい明るい職場づくりを目指す努力をする。

【長野】立場をわきまえ、良識ある行動をとる。

クルマの未来

日翔会において、全国自動車販売会会長 櫻井誠己氏（島根日産自動車㈱・日産サテオ島根㈱・日産プリンス鳥取販売㈱社長）の講演を拝聴する機会をいただきました。そのなかで、自動車に関連するさまざまな税金が国の財源になっており、国内販売台数（2014年は約530万台/年）が毎年減少し続け、大都市圏での車離れや、少子高齢化により国としても財源確保のためにも、国内販売台数500万台以上をどうやって維持していくのか、経済産業省との細かい意見交換をしておられます。

自動車の販売台数を維持又は増加させるためには、消費者が魅力を感じる税制体系や代替えサイクルを早めるなどの仕掛けが必要であると話されました。

私達が必要とする使用済み潤滑油は、内燃機関のエンジンがあってこそ排出があるが、今後発売される燃料電池車や電気自動車のシェアが広がれば我々の事業も縮小する事は分かっています。

自動車産業と関連する私達も、地元自動車販売会社の一助が出来る様、当社としても協力が出来ればと感じました。（松下）

幻想的なキャンドルナイト

よつがね

10月24日、出雲市四絡文化祭の行事で、キャンドルナイトが行われました。

昨年の出雲産業フェアで当社が行ったキャンドル作りが縁で、四絡コミュニティセンターで集めておられる使用済み天ぷら油を使って環境部の方々がキャンドルを作成されました。文化祭では、地域の子供たちがキャンドルにランプ傘を作り、駐車場に並べました。日没ごろに点灯され、幻想的な雰囲気醸し出していました。近所の親子連れや家族連れの方々が集まれ、浮かび上がる風景を楽しんでおられました。



キャンドルの明かりを楽しむ子供たち

第6回ちづの森 感謝祭

11月7日に智頭町森のようちえんまるたんぼの感謝祭が智頭小学校で行われました。美味しいものや楽しいイベントが満載で、大賑わいでした。



楽しそうな子供たち

元氣の出る言葉

中村天風師

自分が知って知らずに関わらず、
蒔いたとおりに花が咲く

「ああなつたらいいな、こうなつたらいいな」ということが理想化され、現実化されて、今のこの世の中が作り出されてきている。そう思うだけでなく、実現する覚悟をもって積極的な行動にしよう。

（長野）



「ナワシログミ」十月頃に開花し、果実は「苗代」（四月から五月）に赤熟する



社長が薦める今月の一冊

社長業

儲かる会社をつくる社長の戦略実務
牟田 學著
産業能率大学出版部刊



当社の顧問税理士事務所のUさんは、自らを「中小企業経営お助け業」と任じています。そして月次の試算表の作成は当然。業績回復にどんな手を打つのか？こうしたらもっと経営がよくなる、などていねいに教えてくれます。中小企業にとっては貴重な存在です。

どんな勉強をしたのですか？と質問したところ、この本から学んだと教えてくれました。この本は、1982年初版以来、33年の長きにわたって重版を続け、以来現在でも経営者たちの大切な教科書となっていると識者に聞きました。こんな教えがあります。

事業には、見込み事業と受注事業とがあり、見込み事業の重要な課題は「商品に事業の生命が懸かっている」。そして「受注事業は、他のどんな競争相手より、得意先に与えるインパクトの強い信頼性を売っていくことを、最大の戦略課題とすべきである。だから最終的には、得意先との人間関係をどのように築いていくかによって、受注事業は興亡が決まる」。

だから私たちのような受注事業は、お客さまとの強い信頼関係でつながれば、価格競争にはならない。そしてお客さまにとって強く必要とされる会社になる。肝に銘ずべきである。(山根)

編集後記

10月31日と11月1日に開催された出雲産業フェアで、今年もキャンドル作りをさせていただいた。使用済み天ぷら油が燃料になることを体感してもらい、リサイクルを考えるきっかけにすることと、リサイクルを楽しく実践することを目的とした。「昨年、できなかったから、今年は絶対に作りたくてきた」と、大変うれしい声も聞かせていただいた。市民の間に浸透していることがわかり、今後の課題も見えてきたように感じます。(長野)



「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。

本代は¥1,800+税(税込1,944円)です。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で2名様に年越しそばを差し上げます。クイズの締切は11月末です。奮ってご応募下さい。

Q：プロ野球チーム楽天の次期監督は、
浜田市出身の誰でしょう？
フルネームで答えてください。

先月号の答は、「2人」でした。

鳥取市山村様、雲南市清水様、庄原市福岡様が
当選です。

おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着状況

- ・成功への実践 尾身幸次 日本経営合理化協会
- ・新編 日本の面影 ラフカデオハーン 角川書店
- ・どんな問題も「チーム」で解決する ANAの口くせ
ANAビジネスソリュー 中経出版
- ・新しい道徳「いいことをすると気持ちがいい」のはなぜか
北野武 幻冬舎
- ・環境ビジネス 2015 秋号
- ・文藝春秋 2015年 11月号 文藝春秋
- ・PRESIDENT 2015年 10/5号 プレジデント社



発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail : h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ (<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。